

小論文

解答上の注意

1. 問題文は14頁、解答用紙は1枚（表・裏）、下書用紙は1枚です。
2. 解答用紙に、一橋大学の受験番号を記入してください。氏名は絶対に記入しないでください。
3. 解答は横書きにしてください。
4. 解答用紙は、受験番号を記入する面が表になります。問1を表に、問2を裏に解答してください。解答用紙は、白紙である場合も含め、すべて提出してください。
5. 解答用紙の追加、交換はしません。
6. 解答用紙の余白は採点者が使用するので、誤字脱字の訂正のほかは使わないでください。
7. 問題の内容についての質問には、応じません。
8. 試験終了後、問題文と下書用紙は、持ち帰ってください。

問題

[問題文] を読んで、問1、問2に答えなさい。

問1 下線部(A)「まったく歴史の主流とは関係のない人物の、しかもその微細な事実の確定になぜ鷗外が情熱を傾けるのか」という疑問について、[問題文]に示されたそれぞれの論拠をふまえて、筆者がどのように応えているのかを説明しなさい。(句読点も1字と数え、800字以内とする。)

問2 下線部(B)「その再発見を通して、明治・大正の学術あるいは明治・大正の日本の近代文明そのものに対する批判が出てきた」について、『渋江抽斎』を著した鷗外が明治・大正の日本の学術をいかなる意味で批判したのかを説明したうえで、この批判との関係で、今日の日本の学術に関する問題に対する自身の考えを述べなさい。(句読点も1字と数え、1000字以内とする。)

[問題文]

(この問題は著作権の関係により、文章の出典と引用箇所のみを表示します。)

【[問題文]は三谷太一郎『人は時代といかに向き合うか』[東京大学出版会、2014年]P224～256からの抜粋である。原文の一部を省略し、表記を変更した箇所がある。】